

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	集約型都市構造化推進調査経費		担当部局庁	都市局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	都市計画課 公園緑地・景観課		課長 和田 伸貴 課長 舟引 敏明	
会計区分	一般会計		政策・施策名	7 都市再生・地域再生の推進 25 都市再生・地域再生を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	右肩上がりの社会経済動向を前提としたこれまでの都市づくりから、少子・超高齢化の進展への対応、ますます厳しさを増す財政状況への対応、地球環境問題への対応等の観点から、持続可能なコンパクトなまちづくりへと都市政策の方向性を大きく転換していく必要が生じているところであるため、低炭素まちづくりや地方都市のリノベーションなどを通じて集約型都市構造の形成を促進するための都市政策に係る各種制度等の構築に向けた調査、検討を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	集約型都市構造の形成を促進するためには、①集約型都市構造の実現による効果を客観的かつ定量的に評価し、市民の合意形成を促進すること、②良好な都市環境を形成するとともに、郊外における建築的土地利用を抑制する空間となる、緑地、農地等の非建築的土地利用の土地を適切に活用すること、③都市政策上の見地から公的不動産の活用方策を検討し、その利活用を図ること、が必要であるため平成25年度においては、当該3事項について、評価ツール、ガイドラインの整備や手法の充実等に向けた調査を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				188	209
		繰越し等					
		計				188	209
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	当事業の目的は、集約型都市構造の形成を促進のためにに向けた様々な可能性を検証するために、様々な調査・検討を行うことであり、確立された手法等により成果目標等を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①調査実施件数 ②集約型都市構造化推進調査の実施団体数		活動実績 (当初見込み)		()	()	()
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	都市・地域づくり推進調査費	100	55	集約型都市構造化を推進する観点から、調査内容を拡充することによる増			
	集約型都市構造化推進調査委託費	88	154				
計	188	209					

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明									
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	集約型都市構造の形成を促進のために都市政策に係る各種制度等の構築に向けた調査、検討を行うなど、国が取り組むべき施策として必要な経費である。									
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○										
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-	-									
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-										
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-										
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-										
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-										
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-									
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-										
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-									
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名								
事業番号	類似事業名	所管府省・部局名										
点検結果	<p>本調査は、集約型都市構造の形成を促進のために都市政策に係る各種制度等の構築に向けた調査、検討を行うものであり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集約型都市構造の実現を図る観点から、重要性が高く、かつ制度・枠組に係る検討など国が主導的に検討すべき必要のある施策に限定して調査を行った。 ・請負調査の発注先の選定にあたっては、企画競争による手続において、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、提案の特定にあたり外部の学識経験者からなる企画競争有識者委員会による審査を行う等、より透明性・公平性の確保を図る。 ・委託調査については、即地的な検討を行うため、地方公共団体等への委託による国の直轄調査を実施するにあたり、地方公共団体から取組の提案を公募し、第三者の有識者委員会により提案を選定することにより、透明性・公平性の確保を図る。 											

行政事業レビュー推進チームの所見

・都市の集約化を進める上で、都市の行政コストの削減やPRE等、政策の意義や手段を明確に意識した内容に重点化する。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

・都市の行政コストの削減やPREなど、都市構造の集約化を促進する観点から政策的意義やその手段を十分に勘案しつつ、調査項目の重点化を図る。

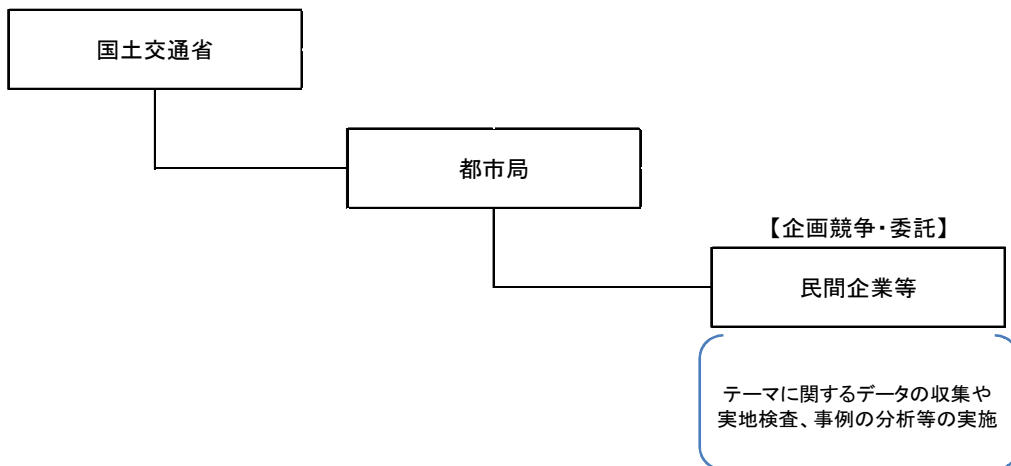
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

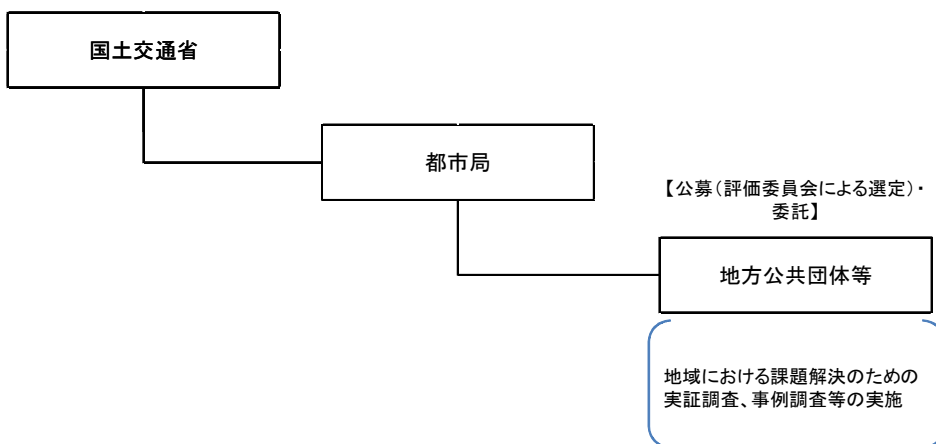
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-
-------	---	-------	---	-------	---

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

○都市・地域づくり推進調査費の支出イメージ



○集約型都市構造化推進調査委託費の支出イメージ



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					